

# 埼玉中央

幅広い要望に応える  
総合印刷会社

**ダイオープリンティング株式会社**

〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-13-4 オープン大塚ビル  
 商印・出版事業部 ☎03-5599-1456/73  
 ビジネスフォーム事業部 ☎03-5599-1456/73  
 シールラベル事業部 ☎03-5599-1232/20

県内の天気

きょう あす

さいたま ☀️ ☀️  
 熊谷 ☀️ ☀️  
 秩父 ☀️ ☀️

きょうの予想 (さいたま)

降水確率  
朝0% 昼10% 晩10%  
 気温  
最高30度 最低19度  
 北の風後南の風

さいたま支局  
 〒330-0063  
 さいたま市浦和区  
 高砂3-12-24  
 小峰ビル2F  
 電話 048-834-0300  
 FAX 048-834-0511  
 mail:saitama@tokyo-np.co.jp

通信局・部  
 熊谷 048-521-2724  
 越谷 048-989-7770  
 羽生 048-561-2523  
 所沢 04-2943-6013  
 川越 049-223-8814  
 秩父 0494-22-1596

「子どもを戦争に巻き込まないで」「平和の大切さを伝えたい」。今回が初舞台のお父さんやお母さん、おばあちゃんも同じ思いを胸に、練習に励んでいる。  
 (杉本慶一)

戦時下の動物園で命を救われたゾウの実話を基にした合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」のコンサートが19日、川口市で開かれる。市民らでつくる合唱団は25年前から2年に1度、この歌を披露してきた。

# 届け 平和への願い



本番を想定したりハーサルで歌う合唱団。いずれも川口市で

## 合唱組曲「ぞうれっしゃがやってきた」



「子どもたちの歌う姿にグッとくる」と語った山本達夫さん

「生きていくぞうがいるんだ  
 本物のぞうがいるんだ  
 ぼくたちもぞうがみたい  
 ぼくたちもぞうがみたい」

日はりハーサル。大人たちの歌声も熱を帯びていく。

「ぼくたちの胸から  
 あふれだした熱い思いが  
 一つに集まって 走らせ  
 たぞうれっしゃ」

川口市立教育研究所(旧芝園小学校)の体育館に五日、子どもたちの元気な声が響いた。「川口ぞうれっしゃ合唱団」は昨年十一月に練習を始め、この

コンサートは今年で十三回目。団員約百七十人のうち、二歳〜七十代の約五十人が初出演

となる。川口や熊谷、所沢市など県内だけでなく、東京都や千葉県から練習に通う人も。介護士の山本達夫さん(四七)も川口市でも新団員の一人だ。妻の千恵さん(四三)と小学生の娘二人は過去二回出演しており、初めて一家四人で舞台上立つ。日本が「戦争ができる国」へと変わろうとする中、「平和の



「反戦の思いを孫と共有したい」と語った東田あけみさん

## 川口で19日 コンサート 170人練習大詰め



「子どもが戦争にかかわってほしくない」と語った本橋理絵子さんと次男の冠君(母の大田志保子さん)

大切さを歌で訴えたい」と山本さん。「ぞうれっしゃ」はストーリーが感動的ですが、子どもたちが一生懸命歌うのを聞くだけで胸にグッときて、自分の声が出なくなっちゃうと苦笑した。元音楽教員の東田あけみさん(四七)も川口市は、孫の前田息吹君(五)と初出演する。息吹君は家族でよく上野動物園(東京)に出掛け、お気に入りの動物はゾウだ。

東田さんは「練習が始まったころ、息吹は『戦争って何?』『ゾウさんがいない動物園なんて動物園じゃない』と言っていた。戦争は、生きるものを痛めたり殺したりすること。だから合唱を通じ、戦争はよくないんだという思いを息吹と共有したい」と願う。

「自分がお母さんになって『ぞうれっしゃ』を歌い始めてから、自分の子の将来と平和について考えるようになった。子どもには戦争にかかわってほしくない。本番ではその思いを込めて歌いたい」

「第十三回川口ぞうれっしゃ合唱団コンサート」はJR川口駅前の川口リリア・メインホールで、十九日午後二時半開演。チケットは一席千五百円。申し込みや問い合わせは、会長の荒木紀理子さん(電048)(268)(9256(夜間のみ))か、電子メール=kawaguchi.zou21@s8.dion.ne.jp。

人間の命を いっくし  
 動物の命を いっくし  
 心をつなぐ  
 子どもたちよいつまでも  
 忘れないでほしい